

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策1-6-2 航空路線の維持・充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 交通対策課長 伊藤 宏 電話番号 0852-22-5898

事務事業の名称	空港国際化事業	
目的	(1) 対象	近隣諸国への渡航希望のある県民
	(2) 意図	国際チャーター便等の運航に対して支援し、交流人口を増やすことにより定期便の開設を目指す。定期便の開設は、アジアを中心とした近隣諸国への渡航を容易にし、県民の利便性は向上する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の国際定期便の開設に必要な航空需要を創出するため、中国チャーター便の運航に対する助成を行う。 ・インバウンド対策の一環として、県内空港を利用し、かつ県内の宿泊施設に宿泊する場合、航空会社等に対して経費の一部を助成する。 	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	中国（上海）へのチャーター便運航便数	年度					単位
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
式・定義	運航便数	目標値		1.00	1.00	1.00	1.00	回
		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
		達成率		0.00	0.00			%
式・定義	指標名	インバウンド国際チャーター便運航便数	年度					単位
	運航便数	実績値	0.00	0.00	4.00	1.00		回
		達成率		0.00	57.10	14.30		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,098	8,200
うち一般財源(千円)	1,098	8,200

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・インバウンド国際チャーター便は、平成25年度に補助制度を創設し誘致を進めているが、平成26年度は、出雲空港の国際使用スポットの舗装工事の影響もあり、年1便の利用にとどまった。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

インバウンド国際チャーター便への補助制度を開設して2年経過したが、台湾からのチャーター便は、毎年実施されるようになっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- ・中国への国際チャーター便については、日中関係悪化等の影響により平成21年度から実績がない状況。
- ・航空会社、旅行会社に対する補助制度の周知が不十分である。

②困っている状況が発生している「原因」

- ・国際チャーター便の運航は、国際問題に左右される場合が多い。
- ・海外事業者の場合、日本国内に代理店等が無い場合が多く、補助金の申請手続きに時間を要する。

③原因を解消するための「課題」

- ・海外での観光説明会等において、制度内容の周知を強化する必要がある。
- ・海外旅行会社の担当者との連絡が迅速、確実に行えるような体制をつくる必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・観光部局と連携して、県の補助制度について、分かりやすく説明した資料の作成、配布などにより周知を図り、台湾を中心としてインバウンド国際チャーター便の誘致を推進していく。
- ・中国へのチャーター便は、状況を見極めながら可能な限り実施に努めていく。
- ・補助制度の運営に当たっては、海外旅行会社との連絡体制を確立するなど、補助制度が利用しやすい環境づくりを行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）